

第33回 名古屋クラシックフェスティバル 世界の超一流が集結! いよいよ開幕!

ギドン・クレーメル & クレメラータ・バルティカ



今回の来日公演は、チャイコフスキー、ピアノ、そして現代音楽のフィリップ・グラス、日本の梅林茂(映画音楽などで国際的に活躍)の作品による、ロシア・アルゼンチン・アメリカの日本の「四季」をテーマにしたプログラム。

ラスカトフ:チャイコフスキー《四季》からのダイジェスト、ピアノ:ブエノス・アイレスの四季、グラス:ヴァイオリン協奏曲「アメリカの四季」他

ギドン・クレーメル、クレメラータ・バルティカ

10/24(土) PM1:00 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥10,000 A¥9,000 B¥8,000 C¥6,000 D¥4,000 学生¥2,500

ROLEX SPECIAL ヨーヨー・マ チェロ・リサイタル
ピアノ:キャサリン・ストット



グラミー賞16回受賞、巨匠指揮者や超一流オーケストラ、名アーティストとの共演など数々の輝かしいキャリアに彩られた、名実ともに世界最高峰のチェリストの名古屋では5年ぶりとなる正統的なリサイタル・プログラム。

バッハ:グノー、シューベルト:アヴェ・マリア、ドビュッシー:美しい夕暮れ、ショスタコヴィチ:チェロ・ソナタ、フランク:チェロ・ソナタ 他

キャサリン・ストット、ヨーヨー・マ

10/27(火) PM6:45 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥20,000 A¥18,000 B¥14,000 C¥12,000 D¥9,000 学生¥3,000

プラハ国立歌劇場「椿姫」
ソプラノ:デジレ・ランカトーレ



1887年創設の名門歌劇場。今回はオペラの中でも一番の人気演目「椿姫」。洗練されたデザインの舞台セットと衣裳で、まさに観て聴いて楽しめる名作オペラの醍醐味ロイヤル・オペラ、メトロポリタン、ウィーンで活躍するソプラノ、デジレ・ランカトーレを主役に迎え、より魅力を高めた公演です。

ヴェルディ作曲 全3幕(日本語字幕付)

デジレ・ランカトーレ

11/3(火祝) PM4:00 愛知県芸術劇場大ホール
 S¥21,000 A¥18,000 B¥14,000 C¥11,000 D¥8,000 E¥6,000 学生¥3,000

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団
指揮:グスターボ・ヒメノ ピアノ:ユジャ・ワン



世界三大オーケストラのひとつ、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団。ユジャ・ワンを迎えて、コンサートヘボウの新しい魅力をお楽しみいただけます。世界最高レベルのオーケストラの魅力、ぜひ体験してください。

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第2番 リムスキー=コルサコフ:「シェラザード」

グスターボ・ヒメノ (Marco Berggreve)、ユジャ・ワン (James Cheadle)

11/9(月) PM6:45 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥32,000 A¥28,000 B¥24,000 C¥18,000 D¥9,000 学生¥5,000

明治ブルガリア・オペラ スペシャル
ブルガリア国立歌劇場
「イーゴリ公」 全2幕



〈原語上演/日本語字幕付〉

10/17(土) PM5:00
 愛知県芸術劇場大ホール
 S¥22,000 A¥19,000
 B¥15,000 C¥12,000
 D¥9,000 E¥7,000 学生¥3,000

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
指揮:イルジー・ビエロフラーヴェク
ピアノ:ダニール・トリフォフ



ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ドヴォルザーク:「新世界より」他

イルジー・ビエロフラーヴェク、ダニール・トリフォフ

11/1(日) PM2:00
 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥21,000 A¥19,000
 B¥15,000 C¥12,000
 D¥9,000 学生¥3,000

マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ) & アントニオ・メネセス(チェロ)
デュオ・リサイタル



ベートーヴェン:チェロとピアノのためのソナタ第4番・第5番、ピアノ:ソナタ第32番、バッハ:無伴奏チェロ組曲第2番

マリア・ジョアン・ピリス、アントニオ・メネセス

11/5(木) PM6:45
 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥9,000 A¥8,000
 B¥7,000 C¥6,000
 D¥4,000 学生¥2,500

マリインスキー・バレエ
「白鳥の湖」 全3幕



〔管弦楽〕マリインスキー歌劇場管弦楽団

マリインスキー・バレエ

11/29(日) PM5:00
 愛知県芸術劇場大ホール
 S¥22,000 A¥19,000
 B¥15,000 C¥12,000
 D¥9,000 E¥7,000 学生¥3,000

ゲルハルト・オピッツ
ピアノ・リサイタル



ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第8番 「悲愴」、シューマン:幻想曲 ブラームス:2つの狂詩曲 他

ゲルハルト・オピッツ

12/5(土) PM1:30
 愛知県芸術劇場コンサートホール
 S¥8,000 A¥7,000
 B¥6,000 C¥5,000
 D¥4,000 学生¥2,000

愛知淑徳大学同窓会 株式会社アクセル 株式会社石田大成社 エグチホールディングス株式会社 株式会社エスカルゴ35 株式会社ケーアールアイ コニックス株式会社 株式会社JTB中部 株式会社シミズイク 株式会社 中京銀行 中電不動産株式会社 名古屋DDP予備校 株式会社 トーエネック 東海東京証券株式会社 東邦ガス株式会社 東洋熱工業株式会社 名古屋鉄道株式会社 名古屋東急ホテル 株式会社/リタケカンパニーリミテド プリンセスガーデンホテル 松尾商事株式会社 株式会社大丸松坂屋百貨店 三菱電機住環境システム株式会社 株式会社三菱東京UFJ銀行 三菱UFJリース株式会社 (五十音順)

Concert & Event Guide

中京テレビコンサート&イベントガイド
 2015 Autumn vol.26

日本のオペラ
 「夕鶴」
 佐藤しのぶ主演

美声に酔いしれる。

世界の歌姫
 デイヴィダ

アンナ・ネトレプコ
 SPECIAL CONCERT
 in JAPAN 2016

2016年春、再演決定!! ウォルト・ディズニーの歴史的な名作を迫力の生演奏と美しい映像で体感!



時代を超えた作品『ファンタジア』。初公開から75年経った今も、ディズニーの最高傑作のひとつとして愛され続けています。この『ファンタジア』でウォルト・ディズニーが目指したのは、生のコンサートにできるだけ近づくこと。そのために、史上初のステレオ音声システムを作り上げたほど。つまり、この作品をオーケストラの生演奏で楽しむことは、ウォルトが描いていた理想に限りなく近い、最高の贅沢なのです。映画音楽を映像つきの生演奏で楽しむコンサートは数あれど、その映像が“音楽ありき”で作られているところが、他作品との決定的な違いです。音楽を目で見て、映像を耳で聴く—そんな唯一無二の『ファンタジア』の世界を、ぜひ体験してください。

◎指揮/ワード・ステア ◎ライブナビゲーター/高嶋ちさ子 ◎管弦楽/セントラル愛知交響楽団

2016/5/3(祝) 「ディズニー・ファンタジア・コンサート」 最速先行受付中 詳しくは [ファンタジアコンサート](http://fantasiaconcert.jp) 検索

公演に関するお問い合わせ **中京テレビ事業 ☎052-957-3333** チケットのお申込み **中京テレビ事業 チケットセンター ☎052-320-9933** (AM10:00~PM6:00 (土・日・祝日 休業))
 〒460-8613 名古屋市中区錦三丁目15番15号 CTV錦ビル6階(AM10:00~PM5:00(土・日・祝日 休業)) (インターネットは24時間受付) <http://cte.jp/> ◎他、各プレイガイドにて販売
 ※都合により出演者・演目等変更になる可能性があります。※未成年者入場不可(公演によって異なりますので、ご確認ください。)*一部完売している公演・席種もございます。あらかじめご了承ください。*学生券はHPよりエントリーのうえ抽選。詳しくは <http://cte.jp/> をご覧ください。※価格は全て税込です。

- ◆ 注目の舞台演出家 宅間孝行 / 赤堀雅秋 / 近藤良平
- ◆ 国際コンクールの頂点を極めたピアニストたち ユンディ・リ / 牛田智大 / 辻井伸行
- ◆ 第33回名古屋クラシックフェスティバル

ドリームチーム
豪華布陣が贈る
日本の美の真髄!!

日本が誇るプリマドンナ
佐藤しのぶ主演



[演出] 市川右近



[美術] 千住博



[衣裳] 森英恵

©三浦興一(舞台写真)

夕鶴

オペラ

16 3/12 [PM2:00]

■会場 / 愛知県芸術劇場大ホール
■料金 / S¥16,000 A¥13,000
B¥9,000 C¥7,000
D¥5,000 学生¥2,500

つう: 佐藤しのぶ
出 与ひょう: 倉石真
演 運ず: 原田圭
惣ど: 高橋啓三

[音楽監督・指揮] 現田茂夫
[原作・脚本] 木下順二
[音楽] 團伊玖磨
[照明] 成瀬一裕
[合唱] 名古屋少年少女合唱団
[管弦楽] 大阪交響楽団
©11/7(土)一般発売

【あらすじ】
いつともしれない物語。どこともしれない雪の中の村。ある日、矢を射られて苦しんでいた鶴を助けた、人の良い与ひょうは、その後ふらりと現れた美しい女、つうを女房にして、小さな家で幸せに暮らしていた。しかしつうが織ってくれる美しい布の評判を聞きつけた欲深い男達が現れて、二人だけの世界は少しずつ変わっていく。あの布がもっとあれば、「都へ行ける」、とたきつけられた与ひょうは…

日本を代表するオペラ《夕鶴》は、1952年1月30日に大阪で初演されて以来、60年以上にわたり不朽の名作として愛されてきました。その《夕鶴》を新たに、日本の伝統美を知り尽くし、かつグローバルに活躍する各界の第一人者が結集して、世界に発信できる新しい舞台に作り上げました。ドリーム・チームと呼ばれるその顔ぶれは、演出に歌舞伎の市川右近、美術に日本画の千住博、衣裳にファッション・デザインの巨匠・森英恵、舞台照明の第一人者・成瀬一裕を迎え、主演には日本が誇るプリマドンナ佐藤しのぶ、音楽監督・指揮には現田茂夫という豪華布陣。日本最高の才能が結集し、情熱を傾けた新プロダクションによって、オペラ《夕鶴》が持つ普遍的なテーマを、シンプルな美しさと洗練の中に伝える、まさに世界に誇る“日本の美”が表現された舞台は必見です!

アンナ・ネトレプコ
来日決定!!

ディーヴァ
現代最高の歌姫、
11年ぶりの
リサイタルが実現!

圧巻のステージパフォーマンスとその美貌で瞬く間にスターダムへのしあがり、彼女が歌えばソールドアウト続出と、現代のオペラ界を代表するディーヴァの地位を築き上げてきたアンナ・ネトレプコ。ミュージック・アメリカ誌は「21世紀の真のスーパースター」と絶賛し、ニューヨーク・タイムズ紙をして「パフォーマンスの全てにおいてカリスマ的な表現力が満ち渡る、最高のスターパワーを持ったソプラノ」と言わしめる世界一の“声”。

今日、最も世界に名を知られるクラシック歌手として絶賛される存在となった彼女は「オペラ・スター」という言葉の意味を書き換えたと言えるでしょう。それほどカリスマ性を湛え、才能と美貌、知性とすべてを兼ね備えた存在なのです。

2002年にザルツブルグ音楽祭で『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナを歌って大成功を収めて以来、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、パリ・オペラ座、英ロイヤル・オペラなど世界中の最高の主要歌劇場に出演しています。また、一万人収容のアリーナ・コンサートやソチ・オリンピックの開会式で「オリンピック賛歌」を歌ったことなどは記憶に新しいところ。

日本で3公演しかない、彼女の貴重なリサイタル。今シーズン、クラシック音楽界最大の話題となるであろうこの“奇跡の来日”、絶対に見逃せない公演です。



16 3/15 [PM6:45]

アンナ・ネトレプコ
SPECIAL CONCERT in JAPAN 2016

■会場 / 愛知県芸術劇場コンサートホール
■料金 / S¥38,000 A¥30,000 B¥24,000 C¥18,000 D¥9,000 学生¥5,000
[ソプラノ] アンナ・ネトレプコ [テノール] ユーシフ・エイヴァゾフ
[指揮] ヤデル・ピニャミーニ [管弦楽] 東京フィルハーモニー交響楽団
©12/5(土)一般発売

タクフェス第3弾公演!! 堤幸彦監督により映画化もされた感動作「くちづけ」が、待望の再演!!



12/11(金)~13(日) フロントアリアの介護 presents
タクフェス第3弾公演「くちづけ」
 会場/刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール
 開演/12月11日(金) 19:00
 12月12日(土)、13日(日) 12:00、17:00
 料金/全席指定 ¥7,800 ©好評発売中

神様...私は、どうすれば、いいんでしょう...
 幼稚園児レベルの知能を持つ、うーやん、頼朝くん、鳥
 チンたちが住むグループホーム「ひまわり荘」に、住み
 こみのスタッフとして、かつて大ヒット作品を一度だけ世
 に送り出した漫画家の愛情いっばん先生と、娘のマコ
 がやってきた。30歳になるマコの知能も幼稚園児レ
 ベル。マコが加わって「ひまわり荘」は今まで以上にパ
 ワーアップ。純真で、わがまま放題の彼らの行動が、笑
 いを巻き起こす。そんな中、お互いを恋の相手として意
 識し始めるうーやんとマコ。マコの恋に気が気じゃない
 父親のいっばん先生は...



「くちづけ」を知った人にとって、知的障がいを持つ人はポジティブな存在になる。

「くちづけ」は、知的障がいのグループホームを舞台にした作品です。重いテーマにあえて取り組まれた一番の理由は何だったのでしょうか? この作品を書いた2010年は、東京セレンデラスの10年目の年でした。当時新作を書くにあたって、自分自身の心の琴線に最も触れる物語を作ってみようと思ったんです。ずっと前に見かけた新聞記事のことを思い出したんです。ただ、エンターテインメントとして成立するのかというのが一番の問題で、取材をしたり調べた結果「これはいける」と思って、あえてこのテーマに突っ込んでいきました。センチメンタルな題材ではありませんけど、僕としてはタブー感を持っていませんでした。この作品が素晴らしいのは「笑い」があるからだと思いますが、いかがでしょうか? 当時、グループホームを取材させてもらったときに、すごくテンションが高い男の子がいて、見ていて普通に笑っちゃったんです。彼のような人がホームの真ん中にいたら、見方を変えればとても明るいものになるし、笑いになるな

思いました。ホンが書き上がったから今度は別のグループホームに取材に行っただけですけど、とにかくみんなずっと笑っているんですよ。こっちがどういふスタンスで行くかで、相手の反応もずいぶん変わるんです。こっちが面白がっていると何度も笑わせようとしてくれたり。僕はあえて一緒に目線になって楽しんだのですが、そうすると最後には「帰らないで」みたいなことになる。基本的に、人間で自分と違うものに対する恐怖がありますよね。でも知っている怖くない。この作品を知っている人にとっては、彼らはポジティブな存在なんです。宅間さん自身も、取材によってそれまで知らなかった彼らのことを理解できるようになり、「くちづけ」を観た人も何も知らないところからステップアップできる。作品がいい媒介になっていますね。確かにそうです。実は、自分の中では物語に不備があって、映画化されるときにそれを埋めるためにキャラクターをひとり増やしたんですね。今回再演するにあたって、さらにもうひとり増や

しました。演じるのは実際に知的障がいがある子です。芸能活動もしていてオーディションを受けに来たんですよ。町田萌香というんですが、彼女と会って話をしたときに、この人のために役を作るべきじゃないかと思って。知的障がいの人が知的障がいの役を演じるんですけど、『くちづけ』という作品の中で彼女が役を演じる姿に、お客さんにびっくりしてもらいたい。カーテンコールで毎回喋らそうかと思って。「演技だ」って。彼女は知的障がいであるということを武器にして活動しているので、ネタにしてくれても全然構わないというぐらいの意気込みでいます。ほかのキャストの方も、演技力や気持ちのあり方が変わりそうですね。初演のときにも心がけたのは、この作品を上演するにあたって、僕らがいかにこのテーマと真摯に向き合ってきたかということでした。多くの時間を割いて、障害に関わることをみんなで話し合いました。今回もそういう時間をたくさん持つと思うし、グループホームにも取材に行く予定です。

世田谷パブリックシアター制作。注目の2公演!!

野村萬斎が芸術監督を務める、現代演劇と舞踊を中心とする新しい舞台芸術の可能性を探る劇場。主劇場・世田谷パブリックシアターと小劇場・シアターラムの2つの劇場のほか、稽古場や作業場、音響スタジオなど「舞台作品創造」のためのさまざまなスペースが用意されています。単なる施設だけではなく、作品創造のために制作・学芸・技術分野の専門スタッフを配置した新しい運営スタイルは、全国の公共劇場から常に注目されています。

赤堀 雅秋
Masaaki Akahori

劇団THE SHAMPOO HATの全作品の作・演出を手掛ける。愛すべきダメな人たちの関係を緊密にリアルに描き、独特のユーモアを交えることで観客に強い共感と高揚感を与えるその作風は、熱狂的なファンを集めている。2012年には初監督した映画「その夜の侍」で新藤兼人賞を、13年には戯曲「一丁目めざき」で第57回岸田國士戯曲賞を受賞。



16/3/1(土)・2(日) [各日PM 7:00] **「同じ夢」**
 会場/ウイングあいち
 ©12/5(土)一般発売
 人間の「業」や「欲」、「嘘」と「本音」などが綱い交ぜになり、にっちもさっちもいかなかったコミュニティーを舞台に、そこに集まらざるを得ない人間達。彼らの姿を赤裸々に、そしてそれぞれの関係から勃発する大小さまざまな事件を、切なくも可笑しく描きます。

近藤 良平
Ryohei Kondo

コンドルズの舞台の構成・映像・振付を手掛けている。NHK教育「からだであそぼ」内の「こんどうさんちのたいそう」、NHK総合「サラリーマンNEO」でも人気を博す。テレビや映画、CM、PVなどの振付多数。野田秀樹作・演出「THE BEE」で鮮烈な役者デビューも果たす。全国各地でワークショップを行い、横浜国立大学では非常勤講師を務める。



16/2/11(木祝) [PM 5:00] ©好評発売中
コンドルズ『GIGANT〜ギガント〜』
 会場/刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール
 料金/全席指定 大人¥6,000 子ども(3歳~小学生)¥3,000
 ※2歳以下は保護者1名につき1名まで膝上無料。ただし、お席が必要な場合は有料。
 「GIGANT〜ギガント〜」のモチーフは「ガリバー旅行記」。近藤良平がガリバーに扮し、様々な国を旅し敵と対峙するお話をダンスで軽快に表現する。コンドルズらしいスパイスの効いた人形劇や寸劇を随所に入れ、決して観る人を飽きさせない作品。

国際コンクール頂点を極めたピアニストの“今”と将来を囑望される“逸材”をいち早く聴く!

16/1/27(木) [PM 6:45]
第17回ショパン国際ピアノ・コンクール2015 入賞者ガラ・コンサート
 会場/愛知県芸術劇場コンサートホール 料金/¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥6,000 学生¥2,500
 [ピアノ]第1回ショパン国際ピアノ・コンクール入賞者 [音楽監督&指揮]ヤツェク・カスプシツク
 [管弦楽]ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 [曲目]ショパンピアノ協奏曲、ソロ曲演奏(詳細未定)



激戦を勝ち抜いた入賞者、夢のガラコンサート。

世界的に最も権威あるコンクールのひとつ「ショパン国際ピアノコンクール」は、ショパンの故郷であるポーランドの首都ワルシャワで5年に1度、ショパンの命日である10月に3週間わたって開催されます。過去の優勝者には、ボリーニ、アルゲリッチ、ツィメルマン、コンディ・リ、プレハッチと錚々たるピアニストがいます。今回のガラ・コンサートでは、将来が期待される2015年の受賞者達の演奏を、ポーランドを代表するワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団との共演でお届けします。次代のスターを見届ける貴重な機会に、是非足をお運びください!

- 主な歴代入賞者**
- 第5回(1955年) 第2位 ウラディーミール・アシュケナージ(ソ連)
 - 第6回(1960年) 第1位 マウツィオ・ボリーニ(イタリア)
 - 第7回(1965年) 第1位 マルタ・アルゲリッチ(アルゼンチン)
 - 第8回(1970年) 第2位 内田光子(日本)
 - 第9回(1975年) 第1位 クリスティアン・ツィメルマン(ポーランド)
 - 第10回(1980年) 第1位 ダン・タイソン(ベトナム)
 - 第11回(1985年) 第1位 スタニスラフ・ブーニン(ソ連)
 - 第14回(2000年) 第1位 コンディ・リ(中国)
 - 第15回(2005年) 第1位 ラファウ・プレハッチ(ポーランド)
 - 第16回(2010年) 第1位 ユリアンナ・アヴデーエワ(ロシア) 第3位 ダニール・トリフォノフ(ロシア)



16/3/1(土)・2(日) [各日PM 7:00] 「同じ夢」
 会場/ウイングあいち
 ©12/5(土)一般発売

人間の「業」や「欲」、「嘘」と「本音」などが綱い交ぜになり、にっちもさっちもいかなかったコミュニティーを舞台に、そこに集まらざるを得ない人間達。彼らの姿を赤裸々に、そしてそれぞれの関係から勃発する大小さまざまな事件を、切なくも可笑しく描きます。

2009年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて日本人として初優勝

辻井伸行

シヨパン国際ピアノコンクール in Asia において、史上初となる5年間続けたの1位を受賞。

牛田智大

シヨパンは僕自身だけ究極のシヨパン弾きが挑む協奏曲!

ユンデイリ

©Wing Shya ©Ayako Yamamoto 衣装提供 株式会社 オンワード樺山 ©Yuji Hori

11/15(日) [PM 3:00] ©好評発売中
ユンデイリピアノ協奏曲の世界!
 会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
 料金/¥15,000 A¥13,000 B¥10,000 C¥7,000 D¥5,000 学生¥2,500
 [曲目]ショパンピアノ協奏曲第1番 短調 op.11 ベートーヴェンピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」※一部曲目が変更となりました。ご了承ください。

16/3/17(木) 岐阜公演 [PM 7:00] 19(土) 名古屋公演 [PM 1:30]
 大和証券グループ presents ©11/21(土)一般発売
辻井伸行 日本ツアー《ショパン・リサイタル》
 ©3/17(木) 会場/サラマカホール 料金/¥6,800 A¥5,800
 ©3/19(土) 会場/愛知県芸術劇場コンサートホール 料金/¥6,800 A¥5,800 B¥4,800
 [曲目]ショパン3つのワルツ op.34、12のエチュード op.10 バラード全曲

